

令和元年度

附属図書館活動報告書

東京大学附属図書館

## 目次

1. 令和元年度の特記事項.....	1
1.1 新図書館計画の進捗 .....	1
1.2 柏図書館特定天井耐震化工事 .....	1
1.3 総合的教育改革への対応（駒場図書館） .....	2
1.4 学習・閲覧環境の充実とサービス改善の取り組み .....	2
1.5 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応 .....	4
2. 研究成果の発信、資料の電子化.....	5
2.1 機関リポジトリ：東京大学学術機関リポジトリ .....	5
2.2 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業.....	5
2.3 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」による資料電子化作業（総合図書館・駒場図書館） .....	5
3. 利用者サービス、ガイダンス、広報 .....	6
3.1 障害のある利用者（本学構成員）への資料電子化サービス.....	6
3.2 総合図書館の広報 .....	6
3.3 図書館ガイダンス、講習会等 .....	6
3.4 キャンパス一般公開 .....	8
3.5 展示及びイベント企画.....	8
4. 資料の収集.....	12
4.1 学習用図書 of 整備 .....	12
4.2 全学資料購入集中処理システムの着実な運用 .....	12
4.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備 .....	12
4.4 大型コレクション .....	12
5. 資料の管理.....	13

5.1	目録データの遡及入力事業	13
5.2	自動書庫への資料入庫（総合図書館）	13
5.3	自動書庫への雑誌移管（柏図書館）	13
5.4	図書資産の実査	13
5.5	アジア研究図書館開館準備作業	14
6.	業務管理	15
6.1	職員研修	15
6.2	友の会（柏図書館）	15
6.3	学生協働	15
6.4	インターンシップ	16
6.5	社会連携・地域貢献	16
6.6	教員著作物可視化事業との連携	16
6.7	学内他部署との連携	17
6.8	規則改正	18
7.	附属図書館会議	19
	全図書館・室統計	20

# 1. 令和元年度の特記事項

## 1.1 新図書館計画の進捗

総合図書館本館の耐震改修工事Ⅲ-3期は本館中央部分の書庫および書庫前スペースの整備が行われ平成31年3月に完了した。ガラス越しに書庫を見ることができる大階段奥は新たに新着雑誌と新聞閲覧スペースとなった。令和2年1月から、令和2年7月までの予定で、本館東側を対象とするⅣ期工事に着工した。なお、Ⅳ期フロアプランについては、「図書館本館改修・フロアプラン月例会議」において検討した。

総合図書館別館のライブラリープラザは、平成30年10月のリニューアルオープン以来、会話ができるアクティブな学習空間として活用されている。各種イベントによる学術情報の発信も引き続き実施した。また、前年度から継続して工学系研究科英文コンサルテーション ERIC (English wRItIng Consultant) に会場を提供した他、相談支援研究開発センターぴあサポーターの活動にも会場を提供した(詳細は3.5 イベント企画)。

改修工事のため外部で保管していた図書と製本雑誌の自動書庫への搬入も引き続き実施した。(詳細は「5.2 自動書庫への資料入庫」を参照)。また、学内で保管している資料を、柏図書館、先端科学技術研究センター図書室の支援により学内者の利用に供していたが、令和元年度中に各所保管の資料を総合図書館へ戻す作業が完了したため、柏図書館、先端科学技術研究センター図書室による運用支援が終了した。

アジア研究図書館運営委員会では、令和2年度のアジア研究図書館開館に向けて、資料収集や利用規則等について検討が行われた。また、昨年度の調査に基づき、各部局図書館・室からの図書移管が開始された。

## 1.2 柏図書館特定天井耐震化工事

平成25年国土交通省告示第771号「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」に対応するため、令和元年12月9日～令和2年3月26日の間、柏図書館メディアプロムナードおよびメディアホールの特定期間耐震化工事を実施した。

柏図書館では工事の進捗に合わせ、利用者の安全確保を目的に令和元年12月20日～令和2年1月8日および令和2年3月2日～3月16日を臨時閉館とした。また、工事期間中の騒音発生時に学内利用者より静謐な閲覧環境について問い合わせがあった場合に、物性研究所図書室を案内できるよう、物性研究所と調整を行った。

## 1.3 総合的教育改革への対応（駒場図書館）

### (1) 初年次ゼミナールでの検索実習支援

平成 30 年度に開講された学部新生必修授業の「初年次ゼミナール文科」および「初年次ゼミナール理科」において、駒場図書館職員と情報システム部情報基盤課学術情報チーム学術情報リテラシー担当（以下、学術情報リテラシー担当）が教材の作成、検索実習の講師を担当するなど引き続き支援を実施した。

### (2) 全学自由研究ゼミナール「図書館の学び・活用・提案」との連携

平成 29 年度から開講の全学自由研究ゼミナール「図書館の学び・活用・提案」（通称：こまちゃんゼミナール）の一環として、駒場図書館バックヤード見学、発表会の聴講・講評、駒場図書館展示コーナーを活用しての授業成果発表を継続して実施し、教育学習資源としての図書館の有効活用促進に寄与する成果を得た。

## 1.4 学習・閲覧環境の充実とサービス改善の取り組み

### (1) 総合図書館

ライブラリープラザの環境改善とサービス拡充

平成 30 年 10 月にリニューアルオープンしたライブラリープラザでは、会話ができるアクティブな学習空間、イベント等が可能な貸出スペースの二つを大きなサービスとして提供している。新規オープン半年を経て、これらサービスの見直しを行い以下の改善を行った。

令和元年前半に実施した利用動向調査の結果、2、3 人の少人数グループ学習、および個人学習の比率が高かったことから、2 人程度のグループ学習かつ個人学習にも適した正方形型のキャスター付きの机を 10 台追加した。

また、モニターエリアのイベント等への占有貸出時間について、従来平日 10:00-19:00 のみであったが、令和元年 8 月 1 日から、開館 30 分後～閉館 1 時間前（土・日・祝日を含む）に利用時間を拡大した。

本館閲覧席の環境改善

閲覧席の環境について利用者動向調査、意向調査を実施した。その結果に基づき、本館 3 階カウンター状の閲覧席に衝立を設置した。また、3 階大閲覧室については、4 人掛けのところ、2/3 程度を 3 人掛けに変更し、全席の間にテーブルで仕切りを設け、さらに荷物用のカゴを貸し出すことで、閲覧席のスペースを有効に活用できるようにした。

また、本館東側の改修工事による騒音の対策として、すでに工事が完了しておりかつ騒音の影響を比較的受けにくい、2 階中央部分及び 2 階西側に臨時閲覧席を 28 席増設した。

新着雑誌・新聞閲覧室の設置

本館 1 階に新たに新着雑誌・新聞閲覧室を設置し、サービスを開始した。それにあわせて、新着雑誌の配架順の見直し、および配架場所リストの設置を行い、より必要な雑誌にアクセスしやすい環境を整えた。

## 滞在環境の改善

平成 30 年度に本館 2 階ラウンジコーナーへ自動販売機を設置し、閲覧席での蓋付きの飲み物可としていたことに加え、令和元年度には、工事により撤去していた冷水機を本館地下 1 階に再設置した。また、平成 30 年度に冬季のブランケット提供を開始したことに加え、令和元年度には、荷物カゴ、及び卓上掃除用のほうきとちりとりを提供を開始し、利用者がより快適に滞在できるようにした。

さらに、電話通話について、本館は通話可能な場所を 4 カ所に増やし、ライブラリープラザでは学術・研究目的に限り電話及びテレビ通話可能な運用に変更し、利用者の利便性向上を図った。

## 教員・学生に対するサービス改善

予約資料の受取、取寄せ資料の受取の時間を、カウンターサービス時間中から、開館時間中全てに拡大した。これにより資料の貸出についての利用者の利便性が上がった。また、その他のサービスとして、利用者の資料運搬に使用するカートの提供及び新着図書のジャケット保存の試行を平成 30 年度に行っていたが、令和元年度から本格的に開始した。

## (2) 駒場図書館

### 学習・閲覧環境の充実に向けた取り組み

- ・ 多様な学問・知の拡がりに触れる機会を提供し、学生の学習意欲の維持向上、知的好奇心を刺激するような魅力ある「本棚」の実現を目指し、駒場図書館 1 階エントランス付近のリニューアルとして下記の各図書コーナーを設置した。同コーナーでは本学教員著作を可視化することにより、特に前期課程学生の進路選択の一助となることにも留意した。
- ・ 新着図書コーナー：一般図書のカバーを残す運用へ変更し、図書の見た目の魅力を損なわない展示方法に変更した。また、同コーナー内には東京大学出版会新刊図書を紹介する棚を新設した。
- ・ UTokyo BiblioPlaza コーナー：研究推進部研究推進企画課との連携により、本学教員が自著を紹介する Web サイト「UTokyo BiblioPlaza」最新 1 年分の掲載図書 237 冊を集めた本棚を新設した（本は毎年入れ替え予定）。
- ・ 利用頻度の少ない 2 階 AV ブースを 4 席減らし、よりニーズの高い閲覧席に入れ替えた。
- ・ 静寂エリアのサイン及び掲示物について、日英併記かつ理解を助けるアイコンを添えたデザインに変更した。また、窓口対応で役立つ施設利用のための英語の案内シートを整備した。
- ・ 従来日本語のみだった閉館案内放送について、外国人利用者のために日本語に続いて英語が流れるよう整備した。

## 教員・学生に対するサービス改善

教養学部・大学院総合文化研究科の授業準備のため駒場図書館の利用を希望する新規採用予定（非在籍期間中）教員を館長許可利用者として登録可能とし、サービスを開始するとともに、元非常勤教員が駒場図書館で利用登録できるよう運用を変更した。

また、学生等への夏季長期貸出について、従来からの実施期間および貸出期間を短縮し、かつ返却期限の延長を可能とする試行（2 年目）を実施した。その結果、延滞は減少傾向とな

り、長期に渡り大学を離れる学生の利便性に配慮しつつ、研究のために資料を必要とする教員・大学院生がより早く資料へアクセスできるよう改善されたため、令和2年度からの本運用が決定した。

## 1.5 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

令和2年1月頃から国内での流行が始まった、新型コロナウイルスに関連した感染症対策として、東京大学では原則として国における対応に準じて対応することが発表された。また、3月3日付の危機管理担当・環境安全衛生担当理事・副学長による各部局長宛文書により、主催イベントの中止・延期の検討が求められた。（3.6 イベント・展示）

すでに春期休業期間中であったため、各館では次のような対応を取った。

### (1) 総合図書館

総合図書館では、新型コロナウイルスの影響により図書の返却のために来館することが困難な場合の資料の返却と罰則解除を行い、さらに感染が拡大した後は、3月19日から一般利用者の利用、建物見学の停止、ライブラリープラザでの会話を伴う利用禁止及び座席数を減らすことで一定間隔を保って学習できるようにするなどの環境整備を行い、3月27日以降は、土日の臨時閉館、平日の開館時間短縮（9：00～17：00）、卒業生等を含めた学外者の利用停止、書庫入庫、閲覧席利用停止、オリエンテーションの開催延期、別館ライブラリープラザ閉室とし、本学の活動制限指針に基づいて、利用制限を行った。

### (2) 駒場図書館

駒場図書館では、総合文化研究科・教養学部の活動制限にあわせ、令和2年3月2日（月）～31日（火）の平日開館時刻を8:30から11:00に繰り下げ、さらに3月30日（月）～31日（火）は閉館時刻を20:00から17:00に繰り上げる開館時間変更（4月2日（木）まで継続）を実施し、3月28日（土）～29日（日）には臨時閉館（4月5日（日）以降当分の間、土日祝日の臨時閉館継続）を行った。施設面では、グループ学習室、閲覧席、ラウンジ内の飲食コーナーおよびウォータークーラーの利用停止、メディアパーク内 ECCS 端末用座席の間引きを実施した。1階展示ケースでの3月20日（金祝）からの展示1件については、主催者からの延期の申し入れを受理し、その後新規利用申請受付を停止した。利用面では、名誉教授の証、東京大学附属図書館または駒場図書館の利用証・入館証所持者も含め、学外者の入館制限を実施、返却困難なケースへの対応緩和（メールでの申出による）、入構制限により来館できない利用者のため正門前へのブックポスト設置を行った。

### (3) 柏図書館

柏図書館では、館内施設の利用制限や座席椅子数を減らすなどの感染防止対策を実施するとともに、3月30日から学外者の入館制限を開始した。また、令和2年度に向けて、学内者へのサービスは継続しつつ、夜間土曜開館を取りやめ短縮開館に変更するアナウンスを実施した。さらに、4月に予定していた柏図書館セルフツアーは中止することとした。



## 2. 研究成果の発信、資料の電子化

### 2.1 機関リポジトリ：東京大学学術機関リポジトリ

令和元年度は全体で2,262件のコンテンツ追加登録を行い、これにより総コンテンツ数が43,462件になった。登録コンテンツの内訳は、紀要・博士論文が中心である。紀要は、87誌からなる27,542件の論文を公開し、本学の研究成果の発信に貢献している。機関リポジトリを公開プラットフォームとして利用している紀要の掲載論文及び、要旨または本文を公開している博士論文に対しDOI付与を行っており、令和元年度には新規登録データへのDOI付与に加え、過去に登録した紀要論文10,560件にDOI付与を行った。また、研究データの登録にもシステム上対応可能な範囲で対応を開始することとし、学術雑誌論文のエビデンスデータ7件を登録した。

### 2.2 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業

平成29年度からスタートした東京大学デジタルアーカイブズ構築事業は、令和元年度も附属図書館、文書館、総合研究博物館、情報基盤センターの各長などから成る「東京大学学術資産等アーカイブズ委員会」を中心に事業を進め、公募により選定された15事業の取り組みを着実に進めた。

令和元年6月には当事業によりデジタル化された資料だけでなく、これまで学内の様々な部局が個別にデジタル化し公開してきたコレクションを横断的に検索できる「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」をリリースした。アーカイブズポータルは国立国会図書館のジャパンサーチ、NDLサーチとの連携を実現し学術資産の公開と利用促進に努めている。

また、学術資産アーカイブ化推進室が主催するデジタルアーカイブズ構築事業の成果紹介とデータ活用を考えるセミナーを開催し、学内外から171名の参加があった。

### 2.3 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」による資料電子化作業（総合図書館・駒場図書館）

本学では、国文学研究資料館（以下「国文研」）が実施する標記事業の拠点大学として、継続的に古典籍の電子化を行っている。令和元年度は駒場図書館の江戸古版本コレクションのうち208点をはじめ、工学・情報理工学図書館25点、農学生命科学図書館64点、東洋文化研究所図書室88点の合計385点の電子化を実施した。総合図書館は国文研と4図書館との連絡窓口となり、撮影対象資料の取りまとめや資料輸送の調整等を行った。

なお今回は撮影専門業者への外注ではなく、4図書館・室の撮影資料を全て国文研（東京都立川市）に移送し、国文研内のスタッフによる画像作成により貴重な古典籍の電子化を実施することができた。



## 3. 利用者サービス、ガイダンス、広報

### 3.1 障害のある利用者（本学構成員）への資料電子化サービス

総合図書館、駒場図書館、柏図書館において、バリアフリー支援室の協力のもと、視覚障害等により紙媒体の資料の利用が困難な本学構成員を対象とした資料電子化サービスを実施している。令和元年度の電子化実施件数は、総合図書館 94 件（うち PDF90 件、テキストデータ 4 件）、駒場図書館 14 件（うちテキストデータ 13 件、点字データ 1 件）であった。（柏図書館は実績なし。）令和元年 6 月に視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）が成立したこともあり、今後いっそう資料電子化サービスの重要性が増すと考えられる。

また、駒場図書館が国立国会図書館の視覚障害者等用データ提供登録館となった。

### 3.2 総合図書館の広報

インターネットを通じた広報として、総合図書館ウェブサイトに加え、より即時性・柔軟性の高い広報チャンネルとして平成 31 年 3 月 13 日に Twitter アカウントを開設し、Twitter での広報も実施している。令和元年度は Twitter アカウントとウェブサイトの両輪を安定的に運用し、Twitter ではウェブサイトでの広報に加え、より多様な情報を、よりスピーディーにより親しみやすく伝えることができた。例えば、新着図書配架や電子公開した総合図書館所蔵資料の紹介、工事の進捗状況などをツイートした。

また、主に学生を対象とした総合図書館のサービスを分かりやすく紹介するリーフレット「探究は、終わらない。」を作成した。作成したリーフレットは各部局に学生向けオリエンテーションでの配布を依頼するなどし、サービスの広報、普及に活用した。

### 3.3 図書館ガイダンス、講習会等

新入生や留学生などを対象に、図書館案内や、資料検索のガイダンス等を実施した。

#### (1) 総合図書館

新規利用者等を対象に以下の説明会を実施した。内容は、①図書館利用案内、② 館内・書庫案内、③本や論文の探し方、である。なお、③の実施に当たっては、学術情報リテラシー担当の全面的な協力を得て実施している。

留学生に対しては、引き続き各研究科で留学生オリエンテーションを実施する部署と連携し、以下のとおり日本語、英語、中国語による図書館利用説明を行った。

期間	内容	参加者数
平成 31 年 4 月 4 日～11 日	「総合図書館 Library tour」(春) 日本語コース 3 回、英語コース 2 回	80 名

令和元年 9月27日～ 10月15日	「総合図書館 オリエンテーション」(秋) 日本語コース 2回、英語コース 3回、中国語コース 2回	71名
春季	授業、ゼミ、部局図書室等との連携によるオリエンテーション 日本語 1回	26名
秋季	授業、ゼミ、部局図書室等との連携によるオリエンテーション 日本語 3回	36名

## (2) 駒場図書館

文系1年生の「初年次ゼミナール文科」で検索実習のほか、オプションとして図書館ツアーも行った。また、院生・留学生向けのガイダンス、授業での文献検索ガイダンスや専門データベース講習会も実施した。

期間	内容	参加者数
春季	大学院新入生向け図書館ガイダンス 10回	21名
春季	初年次ゼミナール文科 検索実習 12回 (学術情報リテラシー担当と共催)	1,267名
春季	初年次ゼミナール文科 オプション図書館ツアー・セミナー 46回	447名
春季・秋季	留学生向け図書館ツアー・ガイダンス 15回	162名
(随時)	授業内での文献検索ガイダンス等 4回	42名
(随時)	専門データベース講習会 13回 (学術情報リテラシー担当との共催を含む)	77名

## (3) 柏図書館

4月～7月、9月～11月の新任職員、新入生が入る時期に重点を置き、適宜、学術情報リテラシー担当と連携しながら図書館利用ガイダンスや講習会等を実施した。

期間	内容	参加者数
春季・秋季	新領域創成科学研究科 新入生ガイダンス 計8回	513名
春季・秋季	新領域創成科学研究科 留学生ガイダンス 計2回	190名
春季・秋季	柏図書館ライブラリーツアー 計2回	55名
春季・秋季	データベース講習会 計20回	21名

### 3.4 キャンパス一般公開

令和元年度も、本郷キャンパスで2日間の「高校生のためのオープンキャンパス」、卒業生を対象にした「ホームカミングデイ」、柏キャンパスで2日間「柏キャンパス一般公開」が開催された。

#### (1) 総合図書館

オープンキャンパスは8月7・8日に開催された。総合図書館本館の見学ツアー（ガイド付き）と建物見学（ガイドなし）を実施した。参加者はそれぞれ約184名、約10,500名だった。このほか、別館ライブラリープラザを、「学部情報まるとラウンジ」として、学部等を紹介するポスターの展示とちらしの配付をおこない、休憩エリアとしても開放した。ツアー参加者は1,200名、ラウンジへの来場者数は約7,000名だった。

ホームカミングデイは10月19日に開催され、総合図書館本館・別館ライブラリープラザの見学と寄附者への記念品配付を行った。来場者数は230名（内：寄附者10名）だった。

#### (2) 柏図書館

柏キャンパス一般公開に参加し、以下の事業を行ったほか、来訪者への館内公開を行った。参加者は1,020人だった。

期間	内容
令和元年 10月25～26日	パネル展示「東大生のある一日」 図書展示「東大生の本棚2019」
柏図書館テーマ 「開いてみよう知の 宝箱2019」	柏図書館セルフツアー 「図書館探検 in 柏」
	柏図書館ガイド付きツアー 「柏図書館の閲覧席から自動書庫まで全部見せます!」

### 3.5 展示及びイベント企画

#### (1) 総合図書館

講演会・セミナー等

令和元年度も様々なイベントを連続開催した。また、総合図書館をはじめとした各図書館・室を東京大学の学生がより活発に使えるようにするため、イベントや広報などを企画・実施する学生ボランティア団体「ACS (Academic Commons Supporter)」によるイベントも開催した。

期間	内容	参加者数
令和元年 5月7日	ACS企画 近接分野座談会「おとなりさん」第2回 テーマ「建設系3学科」	40名

期間	内容	参加者数
6月24日	大学総合教育研究センター、附属図書館主催 第12回ミニレクチャプログラム	10名
6月26日	ACS企画「熱い知をぶつけろ！～第2回総合図書館ビブリオバトル～」	25名
11月22日	総合図書館主催 工学・情報理工学図書館共催 LPトークセッション vol.8 「学術におけるデジタルアーカイブの可能性—工学史の事例から—」 今井浩工学・情報理工学図書館副館長、橋本毅彦教授（大学院総合文化研究科）	25名
11月27日	大学総合教育研究センター、附属図書館主催 第13回ミニレクチャプログラム	33名
11月29日	第3回東京大学学術資産アーカイブ化推進室主催セミナー 東京大学デジタル万華鏡～デジタルアーカイブズ構築事業の成果紹介と これからの活用を考える～ 中村覚助教（情報基盤センター、学術資産アーカイブ化推進室）、加納靖之准教授（東京大学地震研究所）、田村隆准教授（東京大学大学院総合文化研究科）ほか	171名
12月9日	ACS企画「熱い知をぶつけろ！～第3回総合図書館ビブリオバトル～」	11名
令和2年 1月28日	U-PARL アジアンライブラリーカフェ no.006 「インドと私と『百年泥』」石井遊佳（芥川賞作家）	33名
2月20日	大学総合教育研究センター、附属図書館主催 第14回ミニレクチャプログラム	25名

#### 建物見学ツアー

令和元年6月27日、創建当時のデザインに復元された建物の魅力や館内に展示する歴史的文物の紹介する図書館ツアーと所蔵する古典籍資料や創建時の設計図の展示を合わせた企画を行った（4回）。

## (2) 駒場図書館

### 展示企画

期間	内容
令和元年 5月16日～6月12日	ミニ展示「東大教師が新入生にすすめる本 2019」（駒場図書館 1 階）
11月7日～27日	展示「駒場生のイチオシ本！～POP 展示～」



なお、上記以外に展示ケース利用制度による展示企画が 12 件（計 195 日間）あり、授業成果発表・学生団体・学内他部署（詳細は 6.6[学内他部署との連携]に記載。）などにも展示コーナーが活用された。※他 1 件、新型コロナウイルスに関連した感染症対策のため令和 2 年度に延期。

## (3) 柏図書館

### 展示会

期間	内容
平成 31 年 4 月～ 令和元年 9 月	第 13 回企画展示「記録で読みとく東大紛争」
令和元年 7 月～3 月	第 14 回企画展示「資料提供 東京大学柏図書館」
9 月～10 月	第 15 回企画展示「美しい数学」
10 月～ 3 月	第 16 回企画展示「気候－海洋－氷床の過去、現在、将来を探る」

## イベント等

期間	内容
令和元年 6月18日	第20回サイエンスカフェ「鳥たちは「美しさ」をどう感じているか？」 一方井祐子（カブリ数物連携宇宙研究機構特任研究員）
7月26日	ギャラリートーク「記録で読みとく『東大紛争』 - 1968年・1969年東京大学で何が起きていたのか。」 秋山淳子（東京大学文書館特任助教）
10月11日	第21回サイエンスカフェ「宇宙の面白さをいかに伝えてきたか？ - ある天文学者の出版史 -」 渡部潤一（国立天文台副台長、国際天文学連合副会長）
11月15日	英語落語鑑賞会 (主催:三井ボランティアネットワーク事業団、共催:国際化教育支援室 柏支部、柏図書館)
11月25日	第22回サイエンスカフェ「酒と宴、その歴史といまを考える」 辻誠一郎（東京大学名誉教授）
令和2年 1月17日	第22回わくわくミニコンサート（柏図書館、柏図書館友の会共催）

東京大学 Kashiwa Library events 2019  
東京大学柏図書館イベントシリーズ2019

第13回 柏図書館企画展示  
記録で読みとく  
「東大紛争」

1968年・1969年  
東京大学で何が起きていたのか。

安田講堂事件から50年。  
東京大学文書館所蔵の詳細な  
記録から、当時の学内状況を  
ひもときます。

2019年4月15日(月)  
～9月10日(火)

柏図書館1階  
展示スペース

主催：東京大学柏図書館  
〒277-8584 千葉県柏市柏 2-1-6  
TEL 04-7136-6711 kashwa@lib.u-tokyo.ac.jp

協力：東京大学文書館（柏分館）  
〒277-8584 千葉県柏市柏 2-1-6 総合研究館 401号室  
TEL 04-7136-4004 lib@lib.u-tokyo.ac.jp

東京大学 Kashiwa Library events 2019  
東京大学柏図書館イベントシリーズ2019

柏図書館サイエンスカフェ

Kashiwa Library Science Café #20

鳥たちは「美しさ」を  
どう感じているか？

ゲスト  
一方井 祐子 特任研究員  
カブリ数物連携宇宙研究機構  
動物心理学  
カブリ数物連携宇宙研究機構  
動物心理学

オスのクジャの羽を見て、美しさを感じたことはないでしょうか。鳥たちの中には、私たちが思っても美しさを感じず、むしろ避け行動を示すものもいます。では何故、人間が美しいと感じるもの、例えば絵画や音楽をどう感じているのでしょうか。動物心理学と呼ばれる分野で行われてきたいくつかの研究を紹介しながら、鳥たちの「美しさ」の感じ方について考えます。

6/18(火) 16:00～17:00 受付開始 15:45

柏図書館1階コミュニティサロン 定員30名(先着順) 入場無料

主催：東京大学柏図書館  
https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/lib/kashiwa/ Kashiwa  
TEL:04-7136-4224 E-mail: kashiwa@lib.u-tokyo.ac.jp  
後援：東京大学柏図書館友の会

第22回  
わくわくミニコンサート

2020年 1月17日(金)  
17:30～20:00 (席73席) / 17:15 開場  
会場  
東京大学柏キャンパス 新領域環境棟 FSホール

みなさまお誘いあわせの上  
どうぞ来場ください  
(予約不要・入場無料・入退場自由)

1. 開場 祝詞
2. Organize Time (伊藤)
3. 歌謡 (トナリ) (トナリ)
4. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
5. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
6. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
7. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
8. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
9. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
10. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
11. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
12. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
13. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
14. 祝詞 (トナリ) (トナリ)
15. 祝詞 (トナリ) (トナリ)

東京大学柏図書館 Tel. 04-7136-6711  
kashwa@lib.u-tokyo.ac.jp  
https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/lib/kashiwa/

東京大学柏図書館友の会  
TEL 04-7136-4224  
https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/lib/kashiwa/



## 4. 資料の収集

### 4.1 学習用図書整備

平成 20 年度から恒常的に措置されている学習基盤経費により、今年度は総合・駒場・柏図書館で合計 11,086 冊（総図：5,068 冊、駒場：4,706 冊、柏：1,312 冊）の学習用図書を購入した。図書の選定に際しては、教員からの推薦、図書館職員による選定のほか、学生自身の観点を生かすため、ジュニア・スタッフによる選書を実施している。また、留学生向けの資料購入も別途行っており、総合図書館では 114 冊、柏図書館では和書を中心に 79 冊の図書を購入した。このほか、駒場図書館では平成 22 年度から継続して東大駒場友の会から学生向けの図書の寄贈を受けており、今年度は 306 冊が寄贈された。

また、シラバス掲載タイトルの購入など、和書電子書籍の整備を積極的に推し進め、約 3,100 タイトルが利用可能となっている。

### 4.2 全学資料購入集中処理システムの着実な運用

経費節減と事務の効率化を図ることを目的として、図書資料を全学的に共同購入するシステムを平成 16 年度から運用している。第 1 ステージ（図書館・室を通して購入する図書資料）と第 2 ステージ（教員等が各部局の会計担当を通して直接購入する消耗品扱いの図書資料）をあわせた令和元年度の取扱総額は約 2 億 6,100 万円であり、書店への支払いの集中化・一元化により約 1,125 万円の図書購入費を節約することができた。

### 4.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備

平成 18 年度に学内施策として合意された「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」の制度は、平成 28 年度から第 3 期に入った（令和 2 年度まで）。

この制度に基づき、国内雑誌・外国雑誌（冊子）2,946 タイトル、電子ジャーナル 10,297 タイトル、データベース 66 点を契約し、学習・教育研究活動に必要な学術情報を安定的に供給した。これらの契約にかかる事務処理は総合図書館が一括して執り行い、学内の契約・支払い業務の効率化も同時に図っている。

また、令和 3 年度から始まる第 4 期に向けて、平成 30 年度に実施した学内調査の結果にもとづき、3 月 2 日の第 445 回図書行政商議会で資料選定方針が承認された。

### 4.4 大型コレクション

全学共通経費の大型コレクション収集枠を利用して、次の資料を整備した。

(1) American Civil Liberties Union (ACLU) Papers

（ACLU（アメリカ自由人権協会）文書集成デジタル・アーカイヴ）

Part 1: 1912-1920、Part 2: South Regional Office

(2) Nineteenth Century Collections Online (NCCO)

Archive 12: Religion, Society, Spirituality, and Reform

（オンライン版 19 世紀コレクション 12「宗教、社会、スピリチュアリティ、改革」）

(3) Early American Imprints, Series I: Evans, 1639-1800

（初期アメリカ刊行物資料集成 I：エヴァンズ、1639-1800）



## 5. 資料の管理

### 5.1 目録データの遡及入力事業

附属図書館では、オンライン蔵書検索システム（OPAC）が導入される以前の紙の目録カードで整理されていた全学の図書について、遡及的に目録データを入力することによって、オンラインで検索できるようにする事業を10年計画で進めている。

平成27年度から開始した第3期全学遡及入力計画では、令和元年度までの前半5年間は、国文学研究資料館が中心となって実施する「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に伴う「新日本古典籍総合データベース」の構築や東京大学新図書館計画を踏まえて総合図書館所蔵資料を優先して行った。加えて、令和元年度は農学、理学、駒場図書館、東文研所蔵の和古書・漢籍・和書・洋書等の入力を実施した。合計で当初35,000冊の目録作成の計画に対し、約42,000冊（うち総合図書館は約25,000冊）のデータ入力を達成した。

また、令和2年度からの後半5年間の計画策定の参考とするため、各部局に対して遡及入力が必要な資料や全学遡及入力事業への参加希望の有無について調査を行った。

### 5.2 自動書庫への資料入庫（総合図書館）

自動書庫への資料入庫について、平成30年2月21日に入庫作業を開始し、書庫資料の製本雑誌（和書）と図書（和洋書）約30万冊の入庫を5月初旬に完了した。

自動書庫への資料入庫について、駒場IIキャンパス・15号館で保管していた製本雑誌（洋書）の残り約3.8万冊を4-5月の間に自動書庫へ入庫、続いて柏図書館の自動書庫で保管していた図書約7.5冊を8-9月に入庫した。これにより、館外に移転している資料のうち、学内で保管していた資料を全て総合図書館へ戻す作業が完了し、当初計画した初期入庫の対象は女性教育会館で保管している資料を残すのみとなった。

### 5.3 自動書庫への雑誌移管（柏図書館）

令和元年度は総合図書館、駒場図書館、医学、工・情報理工(7専攻)、理学、農学、医科研、物性研、大海研の15図書館・室から、自然系学術雑誌のバックナンバー5,365冊を移管し自動書庫に収納した。現在、自動書庫には約40万冊が収納されており、PDF閲覧サービスを通じて全学の利用に供されている。

### 5.4 図書資産の実査

#### (1) 総合図書館

総合図書館の図書資産実査は、10年で全資料を一巡する計画で順次実施している。令和元年度は第2期計画の5年目にあたり、書庫内に配架されている洋装の和図書約86,000冊及び2018年度実査時未確認資料74冊を実査の対象とした。その結果、和図書のうち64冊は不明資料であっ

た。また、昨年度の不明資料 74 冊については 10 冊の所在を確認できたものの、残る 64 冊については依然不明であった。

## (2) 駒場図書館

駒場図書館の図書資産実査は、5 年で全資料を一巡する計画で順次実施している。令和元年度は第 2 期計画の 5 年目にあたり、地下 2 階の雑誌計 67,112 冊、1F 開架図書 4,378 冊と不明資料 89 冊を対象とし、ジュニア・スタッフ 10 名の協力を得て 9 月に実施した。その結果、計 46 冊が不明であったため、令和 2 年度に再調査を行うこととした。

また、以前より不明であった資料 113 冊について現物調査を行った結果、90 冊は依然として不明であったため、調査不十分の 11 冊を除き 79 冊を亡失資料として除籍手続きを行った。

## (3) 柏図書館

令和元年度は、0 類から 2 類および 9 類の開架図書、参考図書、留学生用図書、新書 17,500 冊を対象に、11 月から 12 月にかけて実査を実施した。その結果、2 冊の不明資料があった。また、平成 30 年度の不明資料 4 冊について併せて再調査を実施した結果、4 冊全てを確認することができた。

## 5.5 アジア研究図書館開館準備作業

新図書館計画の一環であるアジア研究図書館設置に向けた準備として、総合図書館本館 4 階に配架する開架図書の移管作業を行った。

平成 30 年度に行ったアジア研究図書館新設に伴う図書移管に係る調査の結果、9 部局からのべ約 34,000 冊の回答があった。9 月までに附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門 (U-PARL) で重複資料を調整した上で開架図書にふさわしい資料として 8 部局の約 31,000 冊を選定され、10 月 29 日にアジア研究図書館運営委員会で選定結果が承認された。

この選定結果に基づき、各移管元部局での対象資料の再確認を経て、移管作業に着手し、工・経済・教育・史料・法・社研 6 部局分約 1,600 冊については移管手続きを完了し、総合図書館本館 3 階アジア研究図書館蔵書コーナーに仮配架して既に利用に提供している。残りの東文研分約 5,500 冊、人社分約 23,000 冊のうち、約 10,000 冊については 3 月までに総合図書館本館 4 階に搬送済であり、令和 2 年度も引き続き移管作業を行っていく予定である。

## 6. 業務管理

### 6.1 職員研修

附属図書館研修プログラムとして、業務に必要な知識を習得し、業務を効率化・省力化するためのスキルを身に付けた人材を効果的に育成していくため、業務のニーズにあった目的別研修を実施した。令和元年度は情報交換、実践報告などを実施した。また TV 会議システムを利用して、駒場図書館、柏図書館へ講習会の中継を行った。

開催日	内容	参加者数
令和元年 12月13日	『保存と修理の基礎知識』実技編 - 無線綴じ本の手当て	13名
令和2年 1月29日	海外職員交流 in スウェーデン 報告会	15名
2月13日	デジタルアーカイブズ構築事業 関連サービスまとめてご紹介	17名

### 6.2 友の会（柏図書館）

柏図書館友の会は、柏図書館の活動支援や会員相互、及び柏図書館職員との交流の促進を図ることを目的として、平成20年度に発足した。第11回総会を5月31日に開催し、会長その他の役員や事業計画が承認された。また、理事会をメール審議にて3月に開催し、翌年度の事業計画等について議論を行った。令和2年3月31日現在の一般会員（個人）は292名である。

柏図書館と友の会が共催するわくわくミニコンサート（1月17日開催）では12組の出演があり、出演者・来場者合わせて126名が参加した。

### 6.3 学生協働

#### (1) 附属図書館 Academic Commons Supporter (ACS)

Academic Commons Supporter(以下 ACS)は、平成25年度に発足した、附属図書館で活動する学生ボランティア団体である。総合図書館をはじめとした各図書館・室を通じて、東京大学の学生の分野を超えた知の交流を生み出すため、イベント等を学生の発案により企画・実施している。

令和元年度は昨年度からの継続者も合わせて24名で活動を行い、ACS発案企画として、昨年度に引き続き近接分野座談会「おとなりさん」（1回）、総合図書館ビブリオバトル（2回）を実施したほか、11月27日から12月23日には本郷地区の図書館・室(\*1)の協力を得て、図書館シールラリーを実施し、234(\*2)名が参加した。

※1 シールラリー会場：医学図書館・工2号館図書室・文学部3号館図書室・理学図書館・農学生命科学図書館・経済学図書館・教育学部図書室・薬学図書館、景品受取：総合図書館、ガイドブックへの情報掲載：法学部研究室図書室、明治新聞雑誌文庫

※2 ガイドブック配布数。景品引き換え人数は102名。

また、慶應義塾大学大学院生による学生協働に関するアンケート調査・インタビュー調査への協力、「学生協働ワークショップ in 東京 2019」への参加を行った。国公私立大学図書館協力委員会主催の2019年度大学図書館シンポジウム「学生協働の到達点」（第21回図書館総合展）において、ACSの活動支援を担当する職員1名が登壇し、事例報告を行った。

## (2) ジュニア・スタッフ

総合図書館では、学生から19名のジュニア・スタッフを雇用し、返却図書の配架、書架整理、工事が完了した書庫の環境整備、新着雑誌の整備、学生用図書の選書、職員との意見交換会等の活動を行った。また、展示企画として、9月27日～11月11日の間、総合図書館3階ホールでジュニア・スタッフによる選書本の展示を行った。

## (3) ツアーガイド

8月7日・8日に行われたオープンキャンパスで、8名の学生が、24回の総合図書館ツアーガイドを行った。

## 6.4 インターンシップ

大学図書館への就職を志望する大学生のインターンシップとして、慶應義塾大学から2名を受入れ、総合図書館、柏図書館のほか、部局図書館・室の協力により、8月26日～9月6日の2週間にわたって実務研修を実施した。

## 6.5 社会連携・地域貢献

### (1) 所蔵資料の出陳（総合図書館）

総合図書館では、全国の美術館・博物館等が企画する展覧会への出陳依頼があった時は所蔵資料の貸出（出陳）を行っている。令和元年度は4機関へ、のべ31点の資料を貸し出した。

### (2) 合同企画展・講演会の開催（柏図書館）

柏図書館は、柏市立図書館並びに柏市内3大学図書館と連携して、合同企画展（「資料提供 東京大学柏図書館」7月～3月）、講演会（サイエンスカフェ「酒と宴、その歴史といまを考える」11月25日）を開催した。

### (3) 中学生職場体験の受入（柏図書館）

柏市内の市立中学校3校から5名の中学生職場体験を受け入れ、「生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について、体験したり、働く人々と接したりする学習活動」の場を提供した。

## 6.6 教員著作物可視化事業との連携

平成28年度に開始された「教員著作物の可視化と国際発信」事業（研究推進部研究推進企画課）と連携し、東京大学教員の著作物を著者自らが紹介するサイト UTokyo BiblioPlaza に掲載される著作のうち、総合図書館、駒場図書館が未所蔵の図書を合計127タイトル購入し、各館に配架した。図書館からの提案により、同サイトの各著作の紹介ページには東京大学 OPAC の

検索結果へのリンクが掲載されており、所蔵・貸出状況が容易に確認できる。また、対象図書の電子書籍 54 タイトルもあわせて購入し、学内ネットワークにより提供を行っている。

## 6.7 学内他部署との連携

### (1) 総合図書館

総合図書館では、平成 27 年度から、障害者集中雇用プロジェクトチーム（施設部施設企画課、以下プロジェクトチーム）の協力のもと、定期的な館内清掃等の作業を行っている。また平成 30 年度にチーム分室を図書館内に設け、業務支援班のコーディネーターとスタッフによる図書館業務専門のチームが常駐し、日常的に資料清掃や書架整理を実施している。

令和元年度には、建物清掃班が毎月休館日に本館の閲覧机及び館内 PC 約 70 台、別館ライブラリープラザの机・自動ドア等の清掃を行い、業務支援班の図書館分室チームは本館内開架書架の整理と書庫にある図書の清掃を毎日の業務として行いつつ、図書資産実査の補助作業も行った。今後も対象業務の多様化を図り、プロジェクトチームとの協働を深めていきたい。

### (2) 駒場図書館

駒場図書館では、平成 27 年度から障害者集中雇用プロジェクトチーム建物清掃班（駒場分室）による保存書庫の資料および書架清掃及び不定期に駒場図書館内の PC、閲覧机や開架書架の清掃を行っている。週 1 回、3～4 名のスタッフによる丁寧な作業によって、保存書庫や館内の環境は格段に改善された。このほか教養学部等事務部環境美化チームにも不定期に書架の清掃を依頼し、資料保存環境の向上につながっている。両チームの貢献度は極めて高く、今後も連携を強化していきたいと考えている。

平成 30 年度から継続して、教養学部等事務部各課と連携して、非常勤講師（雇用/委嘱）への情報提供改善に努め、スムーズな図書館・電子リソース利用への誘導を図った。今後も身分・所属に関わらず、総合文化研究科・教養学部の教育・研究に尽力する教員の図書館利用に不利益が生じないよう体制の点検を継続する。（詳細は 1.5[学習・閲覧環境の充実とサービス改善の取り組み]に記載。）

また、教養学部授業（1 件）での実地演習場所を提供した。そのほか、展示ケース利用制度による工学部進学選択関連展示（春季）、農学部進学選択関連展示（秋季）も行われた。広報関係では、高大接続研究開発センター運営の「キミの東大 東大ことはじめ」取材への協力も行った（記事公開は令和 2 年度）。今後もこれらの部署との連携を深め、学習や進路選択に資する支援を継続することにより、駒場図書館の発信力強化にも繋げていきたい。

### (3) 柏図書館

柏図書館では、平成 25 年度から環境整備チーム（柏地区共通事務センター環境整備チーム）に書架整理やラベル貼付、送付物封入作業など様々な図書業務を依頼している。令和元年度は、図書資産実査の補助作業・廃棄資料の処理作業・返却図書の書架への配架・清掃作業などを行った。環境整備チームによる業務は、柏図書館にとって強力な業務支援となっており、今後も作業内容を相談しながら業務を依頼し、連携を深めたい。

## 6.8 規則改正

総合図書館では、改修工事の完了及びアジア研究図書館の開館に合わせて、「東京大学総合図書館利用規則」「東京大学総合図書館利用細則」の改正、「アジア研究図書館利用規則」の制定を行った。令和2年10月から施行予定である。またこれと合わせ「東京大学総合図書館規則」の次年度改正に向けて手続きを進めた。

駒場図書館では、教養学部・大学院総合文化研究科の授業準備のため駒場図書館利用を希望する新規採用予定教員へのサービス開始、元非常勤教員の登録手続きに関する運用変更、長期貸出での貸出期間延長を可とする運用変更及び学外者の利用に係る条項の整備等のため、「駒場図書館利用規則」「駒場図書館利用細則」の一部改正を行った。

柏図書館では、防犯カメラの入れ替えに伴い、「防犯カメラ運用方針」の改正を行った。



## 7. 附属図書館会議

開催日	会議名称
平成 31 年	
4 月 24 日	第 442 回東京大学図書行政商議会
令和元年	
7 月 1 日	令和元年度第 1 回東京大学学術資産等アーカイブズ委員会
7 月 12 日	令和元年度第 1 回東京大学柏図書館運営委員会
7 月 23 日	第 443 回東京大学図書行政商議会
7 月 25 日	第 46 回駒場図書館運営委員会
11 月 21 日	第 444 回東京大学図書行政商議会
12 月 5 日	第 47 回駒場図書館運営委員会
12 月 18 日	令和元年度第 2 回東京大学学術資産等アーカイブズ委員会
令和 2 年	
2 月 17 日	令和元年度第 1 回総合図書館運営委員会
3 月 2 日	第 445 回東京大学図書行政商議会
3 月 5 日	第 48 回駒場図書館運営委員会
3 月 10 日	令和元年度第 2 回東京大学柏図書館運営委員会



# 全図書館・室統計

## 1. 職員数、蔵書数、利用件数

図書館名	職員数				蔵書数				資料費				図書				逐次刊行物				相互利用			
	常勤		非常勤		和書		洋書		合計		和文		欧文		合計		和文		欧文		合計		貸出	
	人	人	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊
	(人)	(人)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)
大学院法政学研究所・法学部図書室	11	7	294,316	537,271	831,587	2,345	3,807	6,152	110,637	3,356	6,979	10,335	6,657	701	1,376	865	-	495	100					
近代日本法政史料センター	2	4	57,713	820	58,533	8,045	39	8,084	58	0	0	0	0	0	47	0	-	194	0					
医学図書館	10	5	112,147	162,437	274,584	1,819	1,937	3,756	21,644	2,322	130	2,452	2,227	548	33	581	205	17,145	730					
工学・情報理工学図書館	12	15	170,026	245,405	415,431	4,077	3,514	7,591	18,930	4,312	3,849	8,161	1,985	807	143	950	417	43,501	470					
大学院人文社会科学系研究所・文学部図書室	5	19	563,382	593,609	1,156,991	9,509	4,668	14,177	54,591	5,908	5,097	11,005	4,097	572	605	1,177	772	20,195	617					
理学図書館	6	8	41,278	179,863	221,141	1,470	4,405	5,875	49,913	930	859	1,789	495	194	173	367	105	11,161	106					
農学生命科学図書館	11	4	265,807	180,039	445,846	7,776	5,434	13,210	30,869	4,461	4,297	8,758	856	1,127	504	1,631	647	10,021	1,739					
経済学図書館	8	13	512,609	333,518	846,127	11,479	4,769	16,248	32,307	3,622	2,037	5,659	3,040	550	233	783	310	18,103	254					
駒場図書館・大学院総合文化研究科図書館	15	21	614,133	502,304	1,116,437	2,228	3,529	5,757	47,880	7,635	4,123	11,758	6,851	667	613	1,280	890	178,548	714					
自然科学図書館	1	2	12,051	28,903	40,954	290	846	1,136	309	89	201	290	54	21	8	29	22	5,243	0					
グローバル地域研究機構図書室	1	2	9,111	70,351	79,462	136	1,002	1,138	2,017	283	794	1,077	158	48	54	102	50	2,332	0					
大学院教育学研究科・教育学部図書室	3	5	101,807	68,421	170,228	2,935	1,125	4,060	6,998	1,264	1,202	2,466	543	416	82	498	218	13,843	873					
薬学図書館	2	2	14,196	36,489	50,685	422	439	861	2,029	934	106	1,040	216	83	3	86	10	2,246	141					
大学院数理科学研究科図書室	2	3	15,640	139,275	154,915	155	1,619	1,774	34,988	144	2,219	2,363	1,755	25	461	486	300	5,768	135					
大学院情報学環・学際情報学府図書室	2	4	71,905	55,656	127,561	1,392	1,363	2,755	3,391	910	387	1,297	362	152	42	194	97	4,643	492					
社会情報研究センター	0	4	12,319	5,105	17,424	0	0	0	1,874	217	11	228	123	0	0	0	0	-	557	0				
医科学研究所図書室	2	0	1,382	3,878	5,260	92	83	175	682	0	0	0	0	10	5	15	5	83	64					
地震研究所図書室	2	1	22,662	37,185	59,847	1,227	1,307	2,534	1,549	138	61	199	47	116	27	143	32	619	44					
東洋文化研究所図書室	5	5	508,914	197,623	706,537	2,719	7,234	9,953	11,540	2,403	3,003	5,406	1,721	328	529	857	380	253	152					
社会科学研究所図書室	7	0	214,158	142,225	356,383	5,338	2,224	7,562	15,170	1,618	803	2,421	1,394	646	163	809	296	9,058	176					
生産技術研究所図書室	1	1	58,847	92,640	151,487	1,070	1,502	2,572	964	100	12	112	71	135	6	141	6	1,168	64					
史料編纂所図書室	6	9	530,627	16,449	547,076	2,974	288	3,262	7,931	3,329	182	3,511	737	1,502	37	1,539	100	-	156					
宇宙線研究所図書室	0	1	997	23,461	24,458	21	214	235	783	3	29	32	32	11	3	14	12	131	12					
物性研究所図書室	2	1	7,512	59,392	66,904	98	635	733	10,405	95	130	225	185	37	3	40	33	2,818	43					
大気海洋研究所図書室	1	3	23,547	36,545	60,092	1,661	1,198	2,859	4,890	240	120	360	174	348	212	580	49	606	75					
先端科学技術研究センター図書室	2	2	18,260	30,667	48,947	80	414	494	1,190	190	69	259	225	12	3	15	9	2,324	5					
総合研究博物館図書室	1	1	8,734	2,241	10,975	736	354	1,090	0	345	6	351	0	239	30	269	0	23	0					
部局図書館(室)計	120	137	4,264,080	3,781,792	8,045,872	70,094	53,949	124,043	473,539	44,848	36,706	81,554	34,005	9,316	4,673	13,989	5,830	349,832	11,812					
総合図書館	36	17	856,329	452,186	1,308,515	11,765	9,771	21,536	1,483,115	9,250	3,382	12,632	7,974	1,405	207	1,612	194	152,975	2,524					
柏図書館	5	2	135,473	318,396	453,869	7,989	16,397	24,386	12,070	1,456	694	2,150	1,392	9	16	25	21	25,715	752					
総計	161	156	5,255,882	4,552,374	9,808,256	89,848	80,117	169,965	1,968,724	55,554	40,782	96,336	43,371	10,730	4,896	15,626	6,045	528,522	15,088					

(社)日本図書館協会・大図書館協議会(2020年4月23日現在)より

(ただし職員数は附属図書館職員名簿(2020年4月23日現在)より)

## 2. 経年変化

### 2.1 蔵書数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2015（平成27）年度	9,521,122	1,264,226	652,242	415,207
2016（平成28）年度	9,577,261	1,274,450	663,311	421,752
2017（平成29）年度	9,665,812	1,285,461	673,355	432,333
2018（平成30）年度	9,745,659	1,296,961	681,053	445,286
2019（令和元）年度	9,808,256	1,308,515	687,934	453,869

（冊）

### 2.2 所蔵雑誌種類数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2015（平成27）年度	166,880	21,570	5,711	23,529
2016（平成28）年度	168,385	21,648	5,711	23,675
2017（平成29）年度	167,607	21,503	5,817	23,877
2018（平成30）年度	169,875	21,506	5,841	24,081
2019（令和元）年度	169,965	21,536	5,757	24,386

（種類）

### 2.3 資料費総額

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2015（平成27）年度	1,950,510	97,552	30,169	16,524
2016（平成28）年度	1,809,668	70,944	30,534	17,117
2017（平成29）年度	1,838,119	76,754	31,058	12,989
2018（平成30）年度	1,910,033	75,106	29,971	12,087
2019（令和元）年度	1,968,724	62,094	34,291	12,070

（千円）

### 2.4 入館者数（延人数）

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2015（平成27）年度	1,866,713	440,082	674,853	41,854
2016（平成28）年度	1,849,075	398,114	703,120	35,726
2017（平成29）年度	1,783,205	322,006	693,600	39,055
2018（平成30）年度	1,825,598	448,547	672,408	39,634
2019（令和元）年度	1,900,623	550,874	706,078	33,694

（人）

### 2.5 館外貸出冊数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2015（平成27）年度	523,756	153,479	169,298	35,669
2016（平成28）年度	516,179	147,411	169,064	31,746
2017（平成29）年度	484,890	114,924	165,941	31,822
2018（平成30）年度	503,376	135,076	171,140	29,227
2019（令和元）年度	528,522	152,975	178,548	25,715

（冊）

## 2.6 キャンパス間配送実績

	総件数	取寄せ件数	返却のみ件数
2015（平成27）年度	114,490	50,090	14,310
2016（平成28）年度	108,907	47,067	14,773
2017（平成29）年度	112,540	49,636	13,268
2018（平成30）年度	109,714	47,528	14,658
2019（令和元）年度	112,640	48,429	15,782

（冊）

## 2.7 ウェブサービス等アクセス数

	東大OPAC （検索回数）	附属図書館 ウェブサイト	GACoS
2015（平成27）年度	3,120,728	1,434,215	584,309
2016（平成28）年度	3,876,972	1,325,206	586,230
2017（平成29）年度	5,263,724	1,136,901	704,424
2018（平成30）年度	5,371,135	761,933	728,711
2019（令和元）年度	5,767,232	760,965	756,726

（回）

※2017年9月に附属図書館ウェブサイト进行全面リニューアル。統計項目とデータ取得方法を変更。

## 2.8 電子ジャーナルダウンロード数

	CUP	Science	OUP	Springer Nature	Wiley- Blackwell	Elsevier
2015（平成27）年度	29,978	178,288	171,516	1,451,199	685,344	2,111,667
2016（平成28）年度	26,449	166,146	169,279	1,270,907	723,586	2,165,378
2017（平成29）年度	31,748	171,636	224,286	1,386,094	792,470	2,265,331
2018（平成30）年度	34,390	224,697	235,252	1,521,795	711,781	2,792,472
2019（令和元）年度	30,303	229,668	204,030	1,631,566	829,626	1,987,734

（回）

【参考情報】 図書館関連統計情報の公開サイトについて

- ・ 附属図書館 統計表  
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/about/statistic>
- ・ 主要情報サービス利用統計（情報システム部情報基盤課学術情報チーム）  
<https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/stat/index.html>

## 東京大学附属図書館

2020年10月13日 発行

編集・発行 東京大学附属図書館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 03-5841-2612, 2613 (総務課企画渉外係)

Fax 03-5841-2636

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>

印刷・製本 平河工業社